

# 分布図情報



## 「蝦夷細見之絵図」

文化5(1808)年 高橋政美(書)

(収蔵資料展示「古地図の世界—北方図—」より)



世界文化村ぎふ

北海道・樺太周辺は、世界的に見ても正確な地図の作成が最も遅れた地域の一つですが、1700年代に入るとロシア船がこの地域に出没するようになり、これを危惧した江戸幕府が天明6(1786)年によろやく調査を始めます。

この図は長久保赤水が寛政年間(1789~1801)に刊行した「蝦夷松前図」に近く、樺太の形は寛政2(1790)年の松前藩士高橋清左衛門の調査結果があるので、それらを参考にして描いたと思われます。